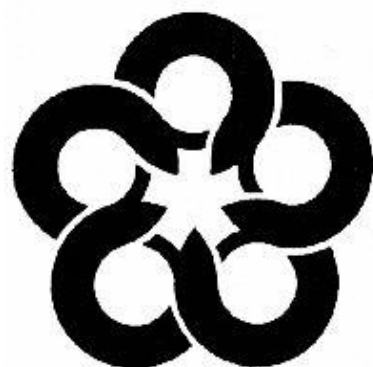


令和8年太宰府市議会第3回定例会

市長提案説明書

(初 日)



令和8年8月27日

皆様、おはようございます。

本日ここに、令和８年太宰府市議会第３回定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、大変ご多用の中にご参集賜り、厚く御礼を申し上げます。

まずはじめに、令和８年熊本地震及び令和８年８月千葉豪雨によりお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方に、心よりお見舞い申し上げます。

７月２８日午後４時２７分に隣県である熊本県において、最大震度７の大地震が発生しました。短期間で二度にわたって最大震度７を記録した平成２８年熊本地震の発生からちょうど１０年が経過し、復興に向けて前進していたさなかでの今回の地震発生は、熊本県民の皆様はもとより、関係者の皆様にとっても痛恨の至りであったことと推察いたします。本市においては、翌７月

29日に早速、給水タンクを搭載した車両とともに職員を熊本県御船町に派遣したことを皮切りに、下水道マンホールの被災状況点検作業、住まい再建支援に関する相談・申請受付等の被災地市役所の窓口支援、在宅における要支援者の健康管理等のため保健師を派遣する等、被災地からの様々な要請に迅速に応える形で職員を交代制で派遣する人的支援を行っております。また、金銭的支援につきましても、7月30日から、市役所やいきいき情報センター、プラム・カルコア等市内5か所の公共施設において募金箱の設置を開始しているほか、8月26日には本市から熊本県に対し、200万円の災害見舞金を送金いたしました。災害はいつどこで起こるかわかりません。思わぬ災害で大変な思いをされている皆様、一日も早い復興が実現し平穏な日常を取り戻せるよう、今後も本市としてできる限りの支援を行っていきたく

いと考えております。

また、令和7年秋からの少雨により、本年1月23日に太宰府市渇水対策本部を設置して以来、市民の皆様には節水等にご協力をいただいております。その後7月13日に渇水対策本部を解散いたしました。梅雨明け以降は少雨の天候が続いており、今後も渇水状況は悪化するおそれがあることから、この度、あらためて8月20日に太宰府市節水推進本部を立ち上げました。市民の皆様におかれましては、引き続きできる限りの節水等へのご協力をお願いいたします。

一方で、8月3日には本市の気温が40.2℃まで上昇し、福岡県内で最初の酷暑日を記録いたしました。昨日8月26日の気温は40.3℃となり、2度目の酷暑日と併せて、観測史上最も高い気温を記録しました。命に関わる危険な暑さに対しては、市内25施設のクー

リングシェルターをご利用いただくなど涼しい環境でお過ごしいただき、塩分・水分のこまめな補給をお願いします。

さて、夏から秋にかけてはお祭りが多く開催されております。まず、市内においては今年も多くの自治会で夏祭りが行われており、可能な限りお伺いさせていただいているところです。猛暑真っ盛りの中ではありますが、各会場とも盛況で地域の盛り上がりを肌で感じております。一方で、この暑さを回避し、夏祭りから秋祭りへ移行される自治会も増えております。昔とは明らかに違う暑さが続く季節ですので、市民の皆様の健康と安全を最優先にさせていただき、地域が盛り上がっていただきたいと思います。

また、10月3日には、大宰府政庁跡を会場に太宰府市民政庁まつりを開催する予定にしております。記念す

べき40回目の開催となる今回の市民政庁まつりは、政庁跡から望む原風景を活かしつつ、史跡を感じ、緑豊かな景色を楽しみながら、世代を問わず心安らぐ催しをお届けしますので、多くの方にご来場いただき、賑わいの中に太宰府らしさを感じていただければ幸いです。

さて、施政方針で申し上げておりました「市長と語る会」について、8月4日に水城台区で今年度の第1回目、8月25日に北谷区で第2回目を開催しました。水城台区、北谷区とも、お住いの区民の方に多数ご参加いただき、公共交通についてのご意見や、安全・安心のまちづくりに関するご要望などを承るなど、活発な意見交換の場となりました。今年度は全部で10の自治会と語る会を開催し、各区の住民の皆様との対話の機会を予定しておりますが、市民の皆様と率直な意見交換を行い、市政

運営に生かしてまいります。

そのほか、五条地区活性化検討委員会、公共施設整備検討委員会のそれぞれ第1回の会議を今月開催したほか、総合計画の策定に向けての協議を進めるなど、今年度の施政方針に掲げた重要項目も着実に前進しておりますので、今後も「未来につなぐまちづくり」に向け皆様と協力し、全力を尽くしてまいりたいと考えております。